

議会だより



雪にも負けず元気に“鬼は外～!” (上豊田保育所 下山分園)

12月 定例会

- 2p 暴力団排除条例を制定
- 4p ここが聞きたい 一般質問 9人 「『中山・白土から京丹波をつなぐ会』立ち上げの強い思いを伝える」など
- 13p 第7回追跡調査 “あれから どないなっとるんや～?”
- 14p 人(ひと) - 西田 和志さん 優子さん
しりゅう ひびき
土龍くん 響生くん (中山区) -



暴力団排除の基本理念を 定めた条例を制定

23年第4回定例会は、12月6日から20日までの会期で開催されました。

本定例会には、人事案件、一般会計・特別会計の補正予算など17件が提出され、16件を可決・同意しました。

一般質問には9人が立ち、35項目について執行部の所見を求め、疑義をたしました。

暴力団排除条例の制定

《提案理由》

町民の安全・安心で平穏な生活を確保するため、暴力団排除の基本理念を定め、町、町民などの責務を明らかにするとともに、公共工事からの排除を定めるもの。

〔全員賛成〕

主な質疑

問 契約の締結に暴力団員に該当する使用者がいない旨の誓約書を徴するとあるが範囲は、

課長 業務を統括する者、権限を持つ者。

問 暴力団である情報収集は。

課長 京都府、警察と常に連携を取り、情報共有を図る。

問 条例の基本理念、町の責務、町民の責務とは。

課長 機運の醸成、公共工事からの排除であり、広報活動の徹底。

問 町長を初め幹部職員の方針が大切、町長の決意は。

町長 税金が暴力団に渡らないことが大切。条例を介し、警察との連携を強めたい。

補正予算

23年度も8カ月を経過し、事業の完了や経費の確定、進捗状況などの精査が行われた補正予算で、全議案を可決しました。

主な質疑

一般会計

問 今回の補正予算には、工事完了済みの予算が計上されている。正確な経理処理が基本と考えるが。

町長 ご質問の通りと理解している。

問 山村開発センターの水道光熱費の追加と、玄関先の改善は。

支所長 燃料費が追加。玄関先は屋根の改修時期にあわせて検討したい。

問 瑞穂小学校近くの防火水槽の撤去後は。

課長 民有地に設置されていた防火水槽で、管理面においても迷惑をかけていた。近辺に消火栓、防火水槽もあり、更地とした。

問 有害鳥獣の大量捕獲装置（ドロップネット）の試験実施と全町的な取り組みは。

課長 安井・塩田谷地区に予定し、先進地研修も実施するなかで、実証的に研究をしていきたい。

問 旧瑞穂病院の解体工事費は当初予算の半額以下の落札であるが、減額補正がされていない。貴重な財源を地元要望の事業にも有効に活用すべきと考えるが、町長の予算編成の考え方は。

町長 一層決裁に慎重を期したい。有効な財源を結果として活用できていないと認識している。

問 オストメイト対応トイレの国・府の補助金はあるのか。また、町長が特に必要と認められた額となる根拠は。

課長 府の補助事業があり、今回の設置は公共の福祉に関する事で、趣向的に対応となった。今後要綱の整備、改正など検討したい。

問 有害鳥獣の大量捕獲装置（ドロップネット）の試験実施と全町的な取り組みは。

課長 安井・塩田谷地区に予定し、先進地研修も実施するなかで、実証的に研究をしていきたい。

問 旧瑞穂病院の解体工事費は当初予算の半額以下の落札であるが、減額補正がされていない。貴重な財源を地元要望の事業にも有効に活用すべきと考えるが、町長の予算編成の考え方は。

町長 一層決裁に慎重を期したい。有効な財源を結果として活用できていないと認識している。

問 オストメイト対応トイレの国・府の補助金はあるのか。また、町長が特に必要と認められた額となる根拠は。

課長 府の補助事業があり、今回の設置は公共の福祉に関する事で、趣向的に対応となった。今後要綱の整備、改正など検討したい。

国民健康保険 事業会計

問 予備費は、突発的な給付金などに対応するためとの認識でよいのか。

課長 保険給付を多い目に見込むより、緊急的な支払いに対応するため予備費で計上している。

討論

反対 村山 良夫 議員

この補正予算は不足する部分を国保運営基金をもって充てようとする予算である。予備費を充当すべきであり反対する。

水道事業会計

問 公債費の償還金利子が予算化されているが、詳細内容は。

課長 当初予算の段階での算入漏れであり、お詫びしたい。

町営バス運行 事業会計

問 燃料費の算定根拠は。 **課長** 町内の石油組合との協議で決定する。

病院事業会計

問 院外処方の実施状況は。 **課長** 和知診療所で実施済み。病院は来春から導入を計画している。

問 サンダイコー横に院外処方薬局が計画されているが、歩道もなく安全面から不安があるが。

課長 府道からの進入となるので、今後、安全面の協議をしていきたい。

問 旧瑞穂病院の解体工事は議会に付議されていないが、その根拠は。

課長 地方公営企業法の規定により適用除外とされている。

討論

反対 村山 良夫 議員

病院の解体工事費の予定価格と、当初予算

には大きな差がある。予算編成にあたっては町民の血税との意識をもって真剣に編成すべきであり反対する。

人事

(敬称略)

教育委員会委員

朝子 照夫 (実勢) 再任

公平委員会委員

山内 幸博 (粟野) 新任

固定資産評価審査委員会委員

大西 晴乘 (質美) 新任

人権擁護委員

山崎 要志 (中倉) 新任

西田 光子 (下大久保) 再任

友金 一郎 (大朴) 再任

農業委員会委員の議会推薦

浅井 明美 (森) 新任

神谷みつ子 (質志) 再任

児玉 彩子 (広野) 新任

意見書

「高齢者に対する肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める意見書」について (福祉厚生常任委員会提出)

〔全員賛成で可決〕

「原子力発電から脱却を求める意見書」について (山田均議員提出)

〔反対多数で否決〕

討論

反対 村山 良夫 議員

安定した電力供給が求められている。さらに化石燃料の枯渇不安と環境破壊への危惧もあり反対する。

賛成 東 まさ子 議員

原発の優位性の神話が崩れた。事故を教訓に、原発からの撤退を断然し、再生可能エネルギーの開発普及を求め賛成する。

各議員の賛否

平成23年12月定例会

賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

審議結果	議案名	議員名																
		小田 耕治	篠塚信太郎	村山 良夫	梅原 好範	横山 勲	山田 均	東 まさ子	岩田 恵一	松村 篤郎	坂本美智代	西山 和樹	原田寿賀美	北尾 潤	森田 幸子	山内 武夫	野口久之(議長)	
可	23年度京丹波町一般会計補正予算(第4号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	23年度国保事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可	23年度京丹波町病院事業会計補正予算(第3号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
否	原子力発電から脱却を求める意見書	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	

議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対



『中山・白土から京丹波をつなぐ会』 立ち上げの強い思いを伝える



梅原好範 議員

町長 白土橋の歩道設置に向け、皆さんと一緒に要望活動の詰めを行う

問 行政再編後6年が経過し、町の一体感が醸成されつつあるが、中山区と白土区を結ぶ国道27号白土橋には歩道が設置されていないため、両区の皆様は危険を承知しながらも、唯一の通行手段として利用されている。また、和知地区より須知高校に自転車通学する生徒と保護者は、毎日事故と隣り合わせの心配をしながらも、避ける事のできない通学路として利用されている。現状を踏まえ、歩道設置の見通しを問う。

町長 危険性を十分認識し、国土交通省との協力体制を密にしながら、早期実現を目指して強く要望活動を行う。
問 長年の悲願である歩道設置を願う、両区の区長様や役員様、須知高校に自転車通学する生徒の保護者の皆様を中心に、これまで前例のない旧町間の枠組みを超えた『中山・白土から京丹波をつなぐ会』が立ち上げられた。皆様の強い思いを伝えたいので、改めて町長の考え方を問う。

町長 皆さんのご努力に敬意を表し、一緒になって要望活動の詰めを行う。
UPZを基軸とした防災計画策定について
問 原子力防災で、国より30*圏内を対象としたUPZ（緊急時防護措置準備区域）が示されたが、それに沿う防災計画の策定方針を問う。また、放射能監視体制は十分なものが計画されているのか。
町長 関係機関と調整を図りながら、慎重に計画策定を進める。監視体制としては、住民の安心と安全の確保に向け、国・府に対しモニタリング体制の充実と強化を要望している。

ファミリーサポート事業の充実について
問 同事業は子育て家庭にとり有効な施策として期待されているが、多くの皆様に理解され、利用されるための取り組み内容を問う。
町長 社協との連携のもと、あらゆる機会を活用して啓発に努める。
文化行政と地域活性化について
問 文化行政は地域活性化に大きな役割を果たし、伝統文化の継承は地域支援と密接な関係にある。国民文化祭の成果のもと、伝統文化の保存と継承、地域活性化の方向性を問う。
町長 ご指摘の通りであり、いずれも一過性のものでなく、地域支援事業の一環として一層の振興を図る。



歩道の設置が求められる国道27号 白土橋付近



村山良夫 議員

予算編成は、透明で町民に理解してもらえらるものを

町長 十分参考にして予算編成をしたい

問 税金等収入未済額の解消策は。

町長 夜間臨時納付窓口や管理職による臨宅訪問の実施、加えて本年度からは、上下水道料金の徴収業務を中心とした専任者を1名採用し納付意識の啓発に努めている。

問 納付意識の啓発は大事であるが、徴収側からの行為であり、収入未済額を生じさせない

ため、納税意欲を高める施策が必要でないか。

町長 基本的にはそうあるべきである。

問 先の行政報告では経常的経費の節減を述べておられるが、病院解体予算は1億6500万円に対し入札予定価格は7800万円と半分以上であったのはなぜか。

課長 解体物体をすべ

て産廃処分する予算であったが、本設計の段階で一部埋め立て資材として、再活用したため生じた。

問 経常的経費のなかで人件費の比率は高い。町職員と町内給与所得者の平均年収はどうなっているか。

町長 職員給与は広報京丹波10月号のとおり。町内給与と所得者の資料はない。

問 直近の測量業務の入札は、半値の7掛けになっている。これは行政のマンネリ化の象徴でないか。

課長 当然問題視している。近いうちに対応を図りたい。

問 本年度完成予定の(仮称)須知公園の総投資額はいくらか。また、土地開発公社からの土地の買い戻し費用はいくらか。

町長 総額は8億8500万円、うち土地買い戻し費用は4億40

00万円である。
問 公園土地の買付単価と当初買付時の単価は。

町長 公園土地の単価は3万4000円、当初購入時の単価は2万7000円である。

問 バブルによる地価の下落など相当な評価損があったのではないか。また、この公園事業は評価損を隠ぺいする行為ではないか。

町長 そのような疑念を持たれることは残念である。

大事な情報は情報公開

問 土地開発公社などの含み損を抱えた土地が相当あるがその対処と予算編成は。

町長 本件を含め諸問題について情報公開に努め、町民によく理解して頂く事が肝要で、そのような予算編成に努める。



約9億の巨額を投入した(仮称)須知公園 (須知地内)



町長の選挙公約の進捗状況は



山内武夫議員

町長 進捗度合いは50%・住民目線の町づくりに努めたい

- 問** 公約の進捗状況など、検証結果はどうか。
- 町長** 進捗度合いは50%である。住民目線でしっかりと話し合える町づくりに努めたい。
- 問** 和知診療所の機能を、合併前に戻す公約の見通しと今後の取組みは。
- 町長** 医師確保に向け引き続き調整中であり、公約は守っていく。
- 問** 24年度からのデマンドバスの実証実験の運行形態は。
- 町長** アンケート調査等で意見を聞きながら、利用実態を把握した中で対応したい。
- 問** ファミリーサポートセンター事業の事故対応について、責任ある対応をすべきだ。
- 町長** 事業主体である町が最終責任をもつ。
- 問** 町内の福祉施設から小学校の跡地活用の要望があるが、町の考えは。また、公募も検討すべきでないか。
- 町長** 福祉施設から要望はあるが、まだ煮詰まっていない。公募は地元から要望があれば検討したい。
- 問** 外出支援事業の利用状況と事業収支は。また、福祉タクシーの社会実験の状況はどうか。
- 町長** 利用者数、利用回数ともに年々増加している。福祉タクシーは登録者20人、うち4人が利用。利用者等の意見を聞き社会実験をしていく。
- 問** 外出支援事業会計は赤字で、他会計から補填している実態であるが、町長の認識は。
- 町長** 運送の対価が、営利を目的としない範囲で運営協議会で合意されており、委託事業者には有利な状況になると認識している。
- 問** 事業者の負担能力や輸送対価の見直しな



医師確保で診療体制の充実を（和知診療所）

- ど、公的支援の必要性の議論が必要と考えるが。
- 町長** 議論の必要性は認める。
- 問** 介護保険事業について
- 問** 「第5期介護保険事業計画」の「ニーズ調査」の分析結果は。
- 町長** 日中、独居の方の施設の必要性が伺える。介護ニーズの掘り起しが必要である。
- 問** 第5期で低所得者の保険料軽減の配慮は。
- 町長** 策定委員会で最終検討をいただく。
- 問** 第5期計画での基盤整備は。
- 町長** 在宅介護サービスの充実、地域密着型施設整備が必要である。
- 問** 来年度からの介護保険料の見直しは。
- 町長** 全国平均は5000円で、それを超える見込みである。



原田寿賀美 議員

道路・交通網の充実が町の最重要課題と考えるが

町長 災害などの緊急対応の重要な柱と認識している

問 京都縦貫道丹波綾部道路の進捗状況を広く情報提供すべきと考えるが。

町長 国土交通省が定期的に広報紙を発行し、町内の道の駅に配布している。町のホームページなどでも幅広く情報提供を考えている。
問 環境美化・交通安全のため国道・府道の徹底した維持管理を道路管理者に強く要望さ

れたい。

町長 随時関係機関に要望している。引き続き積極的に要望する。

問 府道舞鶴和知線および上杉和知線の全線改良の計画はあるのか。
町長 集落内の線形不良や幅員拡張工事は整備されますが、現在改良計画は策定されていない。
問 府道広野綾部線および市島和知線の進捗

状況は。

町長 2路線とも京都縦貫道丹波綾部道路とのかかわりで工事が進んでいるが、生活道路として早く利用できるよう強く要望する。
問 町道688路線のうち、危険箇所や地元から改良要望はあるのか。

町長 5年間で35路線を整備する計画である。
問 和知瑞穂間の連絡道路計画は策定されているのか。

はあるのか。

教育長 相談実態はある。
問 教育を担う人材育成の実施は。

教育長 人材育成は重要な課題であり、南丹教育局とも連携し、積極的に取り組んでいる。
問 幼保一元化する考えはないか。

町長 京丹波町次世代育成支援地域協議会で協議を進めている。

福祉・医療行政について

問 福祉医療行政の充実実は町の活性化につながるかと考えるが。

町長 福祉と医療は町づくりの根幹であり重要と認識している。
問 本年4月に町立医療機関を一本化しスタートしたがその成果は。

町長 収支も安定している。医師確保のため、府立医大や関係機関への要望活動に引き続き取り組んでいきたい。

教育行政について

問 虐待や不登校などによる教育相談の実態



塩漬け土地16億円余り 全て買い戻す年次計画を



篠塚信太郎 議員

町長 27年度を最終年度とし分割し買い戻す

問 土地開発公社の塩漬け土地16億円余りを、27年度をめどに全て買い戻すべきでは。

毎年約4億2500万円の財源確保は。

町長 27年度を最終年度とし、分割し買い戻す。財源は歳出を抑制し、基金も念頭に置き確保する。

問 買い戻しが完了した場合、南丹市と協議し公社を解散する考えに変わりはないか。

町長 考えは変わっていない。

問 13万3000㎡の広大な土地の利活用を民間も入れ検討すべきでは。

町長 財産の利活用及び処分は、大きな課題であり検討したい。

大倉ヒヨ谷埋立の地盤高・搬入土量と防災対策は

問 造成されている地盤高は、当初計画よりどれだけ高くなったのか。また、埋め立てた

土量は何万㎡増えたのか。

町長 林地開発行為協議で最大盛り土高約15mの計画で、現在も約15mの高さで実施している。受け入れ土量は、約63万㎡の土量を受け入れた。

問 地元区に説明した高さと異なるのでは。

町長 区長さん始め、ヒヨ谷対策委員会に説明をし、盛土を実施している。

問 防災対策を埋立地下流の住民も要望されており、早急に施工すべきでは。

町長 地表面の排水処理と流水による侵食防止の張りブロック等の対策を講じている。

高齢者世帯等の除雪対策事業の実施を

問 自力では除雪ができない高齢者、母子及び障害者の世帯を対象にした除雪対策事業を実施されたい。

町長 民生委員、社協・町職員が除雪の支援をしている。必要な場合は、福祉関係者で支援したい。

問 南丹市ではすでに実施しているが、どうか。

町長 調査研究したい。

和知診療所の救急医療体制の確立を

問 和知診療所の機能を合併前の状況に回復

する公約は、あと2年で実現できるのか。

町長 現在、努力しており、その公約どおりの予定である。

町商工会プレミアム商品券発行経費の全額補助を

問 24年度当初予算に、プレミアム分と印刷等諸経費全額予算計上する考えはないか。

町長 町としてはできる限りの支援をしたい。



土地開発公社塩漬け土地（大倉ヒヨ谷埋立地）



森田幸子議員

便カラーカードで 赤ちゃんの安心対策を

町長 24年度から母子手帳に導入する



かわいい赤ちゃんの健やかな成長を

問 赤ちゃんの約1万人に1人の割合で、発症する胆道閉鎖症とは、胆管に原因不明の炎症が起き、胆汁をうまく出すことができなくなる病気で、手術が遅れると生存率が下がります。後120日を過ぎるとゼロ%になる。早期発見が重要で便色を日常的に観色できる便カラーカードを、母子健康手帳に導入する考えは

ないか。

町長 24年度から、便カラーカードを母子手帳に導入する。

**救急医療対策として
AEDの整備促進を**

問 突然死は誰にも予測ができない。そこでAEDの有無が大変重要だ。和知の道の駅と中央公民館に設置の考えは。また、管理体制と講習は。

町長 和知の道の駅については、早期に対処し、中央公民館も検討する。管理は設置者が実施している。町内のAED講習の受講者数は、一年間で305人。

問 高齢者の安心安全対策として救急医療情報キットの導入を。

町長 消防や医療・福祉関係者の意見を伺い検討する。

朝ごはんの促進運動を

問 朝ごはんには、頭や体を目覚めさせて一日のリズムを整え、学習能力の向上、規則正しい食生活による肥満防止などの効果がある。朝ごはんの促進運動をする考えはないか。

教育長 PTAが中心に、積極的に行っている。今後も学校・PTAと連携し取り組む。

問 具体的な取り組みは。

教育長 教育委員会の生涯学習通信（トウモ

ロー）に啓発記事を載せるとともに、ポスターを小・中学校に配布し学校と連携し進めている。

町営バスに有料広告を

問 自主財源確保の環境として、町営バスの内外に有料広告の掲載を。

町長 有料広告の実施に向けて調整する。

問 封筒広告についてその後の計画は。

町長 町ホームページにおけるバナー広告で、広告媒体としての価値を高めながら、実施について検討する。



子育て支援事業の トラブル発生時の責任は



坂本美智代 議員

町長 事業主体である町の責任で

問 働く保護者の支援として、地域住民が乳幼児や小学生を預かるファミリーサポート事業が実施される。本町は社会福祉協議会に委託し会員の公募をしているが状況はどうか。

町長 現在、預かり会員が6名の登録である。

問 18年度設立以来、8都道府県で15件重篤な事故が発生している。保険に加入しているが相互援助活動であることを理由に、会員同士で解決すべきとされている。預ける、預かる会員さん双方の信頼関係で成り立つ事業であり、本町の考えは。

町長 トラブルが発生した場合は、社会福祉協議会と協力し、事業主体である町の責任で解決したい。

将来の児童数を見据え

問 瑞穂地区に560食を賄う新給食センター建設の基本計画が提

示された。本町での生徒児童数の減少が予想されるが、将来的な維持管理を考えれば、規模に応じた給食センターにすべきではないか。

教育長 25年度に必要な560食の規模で計画している。

問 新給食センターではアレルギー対応を踏まえたスペースを確保されているが、丹波・和知地区での検討は。

教育長 食物アレルギー疾患に対応できる体制づくりを進めたい。

問 新給食センター建設場所は旧瑞穂病院跡地に計画されている。活用部分は平地で、残りの傾斜部分の活用計画はどうか。

町長 現在、具体的な活用法はない。

エネルギー政策や環境政策の見直しを

問 地球温暖化が進むなか、環境問題について認識を高めるために

も、専門家を呼んでの環境学習に積極的に取り組むべきではないか。

町長 東日本大震災で、改めてエネルギーや環境問題は大切なことであると認識している。府地球温暖化防止活動や推進委員との意見交換や連携をとりながら模索していきたい。

問 エネルギーの地産地消を先進的に進めるため、間伐材の活用、

使用済み天ぷら油の再利用、牛・豚糞の良質堆肥化など地域資源を活用し、地域で循環させる取り組みは。

町長 間伐材活用は来年度から一般家庭へのまきストーブ普及に向けて検討する。廃油の再利用は回収事業活動への支援をしたい。



雪あそびが大好きな子どもたち



東 まさ子 議員

簡易水道統合整備事業(丹波・瑞穂地区)の進捗状況は

町長 23年度末で85.9%の進捗状況となる見込み

問 10年度から始まった簡易水道統合整備事業(総事業費144億円、丹波・瑞穂地区)の進捗状況と残事業について伺う。

町長 23年度末で85.9%の進捗状況となる見込みで、残事業はダム工事と高度浄水処理施設、配水連絡管工事がある。

問 水源の枯渇も理由にダムを含む事業が認可されてきた。統合事業で安定供給できるか。

課長 既存施設も使い給水できる計画となっている。

問 決算資料からも漏水によるムダが大きいと考える。流量計を設置し実態把握をすべき。

町長 必要に応じ整備し、漏水の早期発見に努力する。

問 各簡易水道施設が更新時期を迎えるが、改修計画はどうか。

町長 処理機能も確認しながら、施設の修繕や更新を検討していく。

問 パーキングエリアと一体化した地域振興拠点施設の建設計画が進んでいるが、内容を住民に知らせるべきだ。

町長 基本計画はホームページで公表する。説明会は地元区を対象に適宜開催する。



介護福祉の連携を図る地域包括支援センター(和内地内)

問 京都縦貫道の丹波

町民への説明が必要

利用者の状態や意向に合わせ、在宅生活を支えるため介護予防サービスが提供できるように検討したい。

町長 利用者が決定できない事業はやめるべきではない。利用者が決定できない事業はやるべきではない。

団地内道路の補修・修繕を町の責任で

問 みのりが丘の団地内道路は、路面が掘れて大きな穴があくたび、自治会で補修がされてきた。安全確保の立場から町の責任で行うべきではないか。

町長 町道認定外の道路は町の責任での修繕は困難だが、修繕要望も多いことから路面補修等に係る費用に対し、助成制度を検討したい。



有機農業を 農業振興の柱に



山田 均 議員

町長 実証圃^ほなど検討をしていきたい

問 有害鳥獣対策は行政の最優先課題と言われているが、専門の機関や委員会を設けて系統的に取り組むべきで

生息数を減らすために
猟期にも助成金を

町長 全町的に有機農業を確立することは、極めて困難である。モデルケースによる有機栽培の実証圃など検討する。また、認証制度は研究したい。加工施設の整備には支援していきたい。

問 国民多数が望んでいるのは、安心安全な国内産である。府下でも有数の酪農地帯であり良質な堆肥を生産し、これを活用した有機農業を農業振興の柱にして、「有機の郷」として取り組むべきである。また、町独自の認証制度を設けるとか、加工施設の設置や改良などに支援をすべきと考えるがどうか。

問 京都縦貫道の開通で京丹波町を通過の町にさせないための地域拠点施設の建設であれば、町の中へ降りてもらう引きつける魅力が必要、いまある資源を

地域拠点施設は町の中に
必要

町長 狩猟期間が延期されたので、保護区で捕獲が出来るように許可証を発行し半額の報償金を支払う対策を講じている。また、肉の活用は燻製なども研究した。

ある。生息数を減らすためには、猟期に捕獲して頭数を減らすことが必要である。猟期にシカを捕獲してもワナ代も鉄砲の弾代も奉仕になっている。府下の市町でも猟期に助成金を出しているところもあり研究すべきである。また、肉の活用として、燻製^{くんせい}なども研究すべきである。



良質な堆肥の活用を（北部堆肥センター 下山地内）

問 畑川ダム建設は、丹波・瑞穂の団地で6000人も人口が増え

畑川ダム建設の根拠は

生かすことへお金を投入すべきではないか。また、拠点施設であれば、町民の英知を集めてもっと検討すべきではないのか。

て水が不足するためであったが、根拠がくずれ町内企業から3000トンの日の要望になった。水需要計画の変更や施設の改良は必要なのか。

町長 畑川ダムの完成により人口が増える可能性があると確信している。

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

あれから どないなっとるんや〜?

問 収入未済額の整理・解決策について、外部からの専門職などで構成する組織を設置する考えはないか。

町長 京都地方税機構の専門的な組織と連携し、体制づくりなども検討していく。

問 近年、若者の未婚化が進んでいる中、本町も安心な出会いを提供する考えはないか。

町長 地域の活性化を図るためにも関係団体と連携し、前向きに検討している。

こうなった!

23年度より庁内に専門職1人の配置がされた。



各種料金の徴収率向上が期待される。

こうなった!

昨年12月、町観光協会とタイアップしたイベント「冬ほたる de ときめきツアー」が開催された。



予想を上回る応募者があり、今後も継続した事業展開が期待される。



地域が育む

京丹波の子育て環境

今回はログハウスに憧れるうちに林業に興味を持たれ、参加した森林組合の林業体験がきっかけとなり、平成15年に中山区に引っ越して来られた、いつも優しい笑顔いっぱい、素敵なご家族に登場いただきました。

西田 和志さん 土龍くん
優子さん 響生くん

——このまちに来られた時の印象は。
コンビニが見当たらないことに驚き、これはクルマがないと生活できないと思った。心配していたが、地域にすんなり入り込めたのは、消防団活動に参加したこと。そして妻はちびっこ広場などを通して、たくさんの方と知り合えたのが大きいと思う。

——本町の子育て環境について。
どこでも誰にでも大きな声で挨拶できる子どもに育ったのは、この地域のおかげ。
京都市内に出かけ市バスに乗った時、「ありがとう」と声をかけながらバスを降りるわが子に感心した。

——子どものため、どのような京丹波町を望めますか。
避ける事のできない理由で過疎化が進んでも、この地域で守られている良きところはしっかりと引き継ぎたい。
近くに子どもが少なくなつた事は、本当に寂しく思う。
——西田家の将来の夢は。
ログハウスで暮らす夢を家族全員で実現し、今はできる手入れのすべを、家族が協力しながら楽しんでする。
いつかはこの家を単立つ子どもたち

ちが、さらに大きな視点で自らを育んだ家と地域を感じてほしい。
もしそれが、私達がここに暮らし始めた時に感じた、あの「温かい思いやり」につながっていたなら、親として最高の幸せだと思っている。

少年のように澄んだ笑顔で語られる和志さんの隣には、いつも優子さんがそっと寄り添われています。そして自慢の薪ストーブに入れる丸太を、心許ない手つきで斧を振り下す元気で逞しいお子様たち…。
私の憧れる大好きなご家族です。

(記者 Y・U)



議会の傍聴にお越しください!

今回の議会日程は下記のとおりです。

3月定例会

3月2日(金)
午前9時から

手続きは、受付簿に住所・氏名を記入するだけです。一般質問などの日程については、2月末の議会運営委員会で決定されます。

編集後記

昨年、発生した未曾有の大震災の体験から言われております、人と人との絆の大切さを大事にしなが、皆さまとともに温かみのあるまちづくりに、取り組んでまいります。
私たち新メンバーで、心新たにわかりやすい広報をお届けできるよう頑張っております。
(S・M)



ひと